



光村図書

[発行者] 常田 寛
[発行所] 光村図書出版株式会社
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9
電話 03-3493-2111(代表) / 03-3493-2178(生活課直通)
光村図書ホームページ <http://www.mitsumura-tosho.co.jp>
[印刷] 協和オフセット印刷株式会社
[デザイン] ジュン・キドコロ・デザイン
[表紙] みやこしあきこ
[イラスト] こばようこ おのみさ
[写真] 長岡博史 高宮青志
JASRAC 出 1401750-401

子どもたちの未来のために～環境・健康・児童の特性への配慮～
◎原料や製法など、環境に配慮した紙を使用しました。
◎環境と健康にやさしい、エコマーク認定の植物油インキで印刷しました。
◎カラーユニバーサルデザインに関して、細心の注意を払いました。
◎特別支援教育の視点から、専門家の入念な校閲を受けました。

平成27年度版

せいかつ

編集の趣旨と特色



光村図書

気付きの種がいっぱい!

光村の「せいかつ」



生活科は、子どもたちの活動こそが学びの中心。
その中で、教科書はどうあればいいのだろう。
新しい教科書作りは、この問いからスタートしました。

子どもたちが、たっぷりと活動にひたり、
しっかりと学ぶために、
教科書に何ができるのか。

先生方にも、生活科の楽しさが伝わり、
子どもたちと一緒に取り組んでいただくには、
どんな教科書が求められるのか。

子どもたちへ、そして先生方へ。
気付きの種がいっぱいの教科書が
できあがりました。



光村図書
「せいかつ」代表著者
森 隆夫

教科書は活動の“羅針盤”

「知識は本の中に
知恵は生活(科)の中に」

なぜだろう(ホップ)
おもしろいぞ(ステップ)
ああそうか(ジャンプ)
気付いたら(ホップ)
やってみると(ステップ)
知恵が湧く(ジャンプ)
子どもは バードウォッチング
教師は チャイルドウォッチング

「頭で理解したことは忘れるが
体で解釈したことは忘れないばかりか
知の底力になる」

教科書は学びや育ちの懸け橋、 つながる学びの劇場

教科書を開いた子どもから、「見たことあるよ、したことあるよ」「すごいよ、不思議だな」「なりたいなあ、できるといいなあ」などの言葉が溢れ出す。そして、頭と心と体が自然に動き出す。過去を思い出し、今に熱中し、未来を広げる。子どもにとって教科書は、過去・現在・未来の懸け橋であり、現実世界と想像世界の懸け橋です。子どもは、その橋を行き来して、生き生きと学び育ちます。

過去・現在・未来がつながって、現実と想像がつながって、自分と自分を取り巻く人・社会・自然がつながって、生活科の学びが実現します。子どもにとっての教科書は、つながる学びの劇場なのです。



光村図書
「せいかつ」代表著者
嶋野道弘

ポイント
1

「心」と「体」が動き出す



わあ、おもしろそう。よし、やってみよう。
子どもたちが自然に動き出す教科書、
動き続ける教科書を目指しました。

➤➤➤ p4

ポイント
2

学校生活は、 「なかよし」でスタート

入学したばかりの子どもたちの
「わくわく」や「どきどき」を受け止めて、
楽しい学校生活のスタートをサポートします。

➤➤➤ p16

ポイント
3

光村の「せいかつ」 3つのポイント

授業づくりの アイデアがいっぱい

子どもたちと一緒に、
先生も生活科を楽しんでほしい。
授業がおもしろくなるアイデアが満載です。

➤➤➤ p18



より学びやすい教科書を目指して ➤➤➤ p22

学習指導書・デジタル教科書・拡大教科書 ➤➤➤ p24